

地歴公民

1年	地理総合
1年	歴史総合
1年	公共
2年	世界史B
2年	日本史B
2年	現代社会
2年	ニュースを読み解くⅡ
3年	世界史B
3年	日本史B
3年	世界史演習
3年	日本史演習
3年	現代社会
3年	政治経済
3年	共通テスト対策・世界史
3年	共通テスト対策・日本史
3年	ニュースを読み解くⅢ
3年	総合型対策・世界史
3年	総合型対策・日本史
3年	政治経済・現代社会演習

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースクラス		地歴	地理総合	必修	2単位	城崎智弘
教科書	二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」 二宮書店「詳解現代地図 最新版」		副教材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2022」		
授業のねらい	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いていきます。生活文化の多様性を理解することと、地球規模での課題を理解し、主体的に行動することのできる資質を身につけていきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・自然環境と生活文化	・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加える。 ・地理と政治・経済の結びつきを探究する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト			
	5月					
	6月	・産業の発展と生活文化				
	7月	・言語・宗教と生活文化				
2 学 期	9月	・言語・宗教と生活文化(つづき)	同上			
	10月	・人口・食料問題				
	11月	・地球環境問題				
	12月	・自然災害と防災				
3 学 期	1月	・自然災害と防災	・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う			
	2月	・持続可能な地域づくり				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		地歴	地理総合	必修	2単位	城崎智弘
教科書	二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」 二宮書店「詳解現代地図 最新版」		副教材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2022」		
授業のねらい	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いていきます。生活文化の多様性を理解することと、地球規模での課題を理解し、主体的に行動することのできる資質を身につけていきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・自然環境と生活文化	・学習内容の理解。日頃のさまざまな事象に地理的な視点を加える。 ・地理と政治・経済の結びつきを探究する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト			
	5月					
	6月	・産業の発展と生活文化				
	7月	・言語・宗教と生活文化				
2 学 期	9月	・言語・宗教と生活文化(つづき)	同上			
	10月	・人口・食料問題				
	11月	・地球環境問題				
	12月	・自然災害と防災				
3 学 期	1月	・自然災害と防災	・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う			
	2月	・持続可能な地域づくり				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		地歴	地理総合	必修	2単位	城崎智弘・兼平翔太郎・折井千裕
教科書	二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」 二宮書店「詳解現代地図 最新版」		副教材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2022」		
授業のねらい	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いていきます。生活文化の多様性を理解することと、地球規模での課題を理解し、主体的に行動することのできる資質を身につけていきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・自然環境と生活文化	・学習内容の理解。日頃のさまざまな事象に地理的な視点を加える。 ・地理と政治・経済の結びつきを探究する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト			
	5月					
	6月	・産業の発展と生活文化				
	7月	・言語・宗教と生活文化				
2 学 期	9月	・言語・宗教と生活文化(つづき)	同上			
	10月	・人口・食料問題				
	11月	・地球環境問題				
	12月	・自然災害と防災				
3 学 期	1月	・自然災害と防災	・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う			
	2月	・持続可能な地域づくり				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コース1クラス		地歴	歴史総合	必修	2単位	大隈正平
教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」		副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へノート」		
授業のねらい	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得することを目指します。近現代のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的に考察し、表現する力を身につけることを目指します。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・学習内容の理解。 ・歴史的な事象と現代の事象とを結びつける視点を持つ。 ・提出物(プリント・課題等)			
	5月	・見字維新と日本の立憲体制				
	6月	・帝国主義の展開とアジア				
	7月	・帝国主義の展開とアジア(つづき)				
2 学 期	9月	・第一次世界大戦と大衆社会	同上			
	10月	・経済危機と第二次世界大戦				
	11月	・戦後の国際秩序と日本の改革				
	12月	・戦後の国際秩序と日本の改革(つづき)				
3 学 期	1月	・冷戦と世界経済	同上			
	2月	・グローバル化する世界				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		地歴	歴史総合	必修	2単位	山口忠夫
教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」		副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へノート」		
授業のねらい	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得することを目指します。近現代のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的に考察し、表現する力を身につけることを目指します。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・学習内容の理解。 ・歴史的な事象と現代の事象とを結びつける視点を持つ。 ・提出物(プリント・課題等)			
	5月	・見字維新と日本の立憲体制				
	6月	・帝国主義の展開とアジア	同上			
	7月	・帝国主義の展開とアジア(つづき)	同上			
2 学 期	9月	・第一次世界大戦と大衆社会	同上			
	10月	・経済危機と第二次世界大戦	同上			
	11月	・戦後の国際秩序と日本の改革	同上			
	12月	・戦後の国際秩序と日本の改革(つづき)	同上			
3 学 期	1月	・冷戦と世界経済	同上			
	2月	・グローバル化する世界	同上			
	3月		同上			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		地歴	歴史総合	必修	2単位	大隈正平・櫻田泰史・竹下雄貴
教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」		副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へノート」		
授業のねらい	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得することを目指します。近現代のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的に考察し、表現する力を身につけることを目指します。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認するため、地図帳を活用します。宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解。 ・歴史的な事象と現代の事象とを結びつける視点を持つ。 ・提出物(プリント・課題等) 			
	5月	・見字維新と日本の立憲体制				
	6月	・帝国主義の展開とアジア				
	7月	・帝国主義の展開とアジア(つづき)				
2 学 期	9月	・第一次世界大戦と大衆社会	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 			
	10月	・経済危機と第二次世界大戦				
	11月	・戦後の国際秩序と日本の改革				
	12月	・戦後の国際秩序と日本の改革(つづき)				
3 学 期	1月	・冷戦と世界経済	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 			
	2月	・グローバル化する世界				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースクラス		公民	公共	必修	2単位	寺島嵩登
教科書	第一学習社「高等学校 公共」		副教材			
授業のねらい	社会に参画する自立した主体者となることを目指します。政治参加と公正な世論の形成、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考察する機会をつくっていきます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・公共的な枠組みの理解 ・提出物(プリント・課題) ・小テスト 			
	5月	・政治的な主体となる私たち				
	6月	・国際社会と国家主権				
	7月	・日本の安全保障と防衛				
2 学 期	9月	・日本の安全保障と防衛(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> 同上 			
	10月	・経済的な主体となる私たち				
	11月	市場経済の機能と限界				
	12月	・金融のはたらき 財政の役割と社会				
3 学 期	1月	・公共的な空間をつくる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う 			
	2月	・社会に参画する自立した主体として				
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者	
1年生 特進コースSクラス	公民	公共	必修 2単位	栗須大貴	
教科書	第一学習社「高等学校 公共」		副教材		
授業のねらい	社会に参画する自立した主体者となることを目指します。政治参加と公正な世論の形成、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考察する機会をつくっていきます。				
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。				
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元	学習目標			
1 学 期	4月	・法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・公共的な枠組みの理解 ・提出物(プリント・課題) ・小テスト 		
	5月	・政治的な主体となる私たち			
	6月	・国際社会と国家主権			同上
	7月	・日本の安全保障と防衛			
2 学 期	9月	・日本の安全保障と防衛(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う 		
	10月	・経済的な主体となる私たち			
	11月	市場経済の機能と限界			同上
	12月	・金融のはたらき 財政の役割と社会			
3 学 期	1月	・公共的な空間をつくる私たち			
	2月	・社会に参画する自立した主体として			
	3月				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者	
1年生 進学コースAクラス	公民	公共	必修 2単位	長原亮・赤尾明美	
教科書	第一学習社「高等学校 公共」		副教材		
授業のねらい	社会に参画する自立した主体者となることを目指します。政治参加と公正な世論の形成、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考察する機会をつくっていきます。				
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。				
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元	学習目標			
1 学 期	4月	・法的な主体となる私たち	・学習内容の理解 ・公共的な枠組みの理解 ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
	5月	・政治的な主体となる私たち			
	6月	・国際社会と国家主権			同上
	7月	・日本の安全保障と防衛			
2 学 期	9月	・日本の安全保障と防衛(つづき)	同上		
	10月	・経済的な主体となる私たち			
	11月	市場経済の機能と限界			同上
	12月	・金融のはたらき 財政の役割と社会			
3 学 期	1月	・公共的な空間をつくる私たち	・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		
	2月	・社会に参画する自立した主体として			
	3月				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者	
2年生 特進コースI・Sクラス(文系)	地歴	世界史B	必修選択	4単位	平井廣治	
教科書	帝国書院「新詳・世界史B」		副教材	第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」 山川出版社 「世界史Bマスター問題集」 啓隆社「世界中重要語句Check List」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、夏期・冬期・春期講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・オリエント世界と東地中海世界	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等) 			
	5月	・地中海世界と西アジア				
	6月	・南アジア世界				同上
	7月	・東アジア世界				
2 学 期	9月	・東アジア世界(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等) 			
	10月	・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成				
	11月	・イスラーム世界の成立と発展				同上
	12月	・東アジア世界の変容				
3 学 期	1月	・ヨーロッパ世界の成立と変容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等) 			
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者	
2年生 進学コースAクラス	地歴	世界史B	必修選択	4単位	兼平翔太郎・菊島友里恵・折井千裕・茂木嘉崇	
教科書	帝国書院「新詳・世界史B」		副教材	第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」 啓隆社「世界史重要語句Check List」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認できるようにしておいてください。 地歴高等地図を持参するのが望ましいです。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	単元	学習目標				
1 学 期	4月	世界史のとびら さまざまな地域世界	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等) 			
	5月	オリエント世界と東地中海世界				
	6月	地中海世界と西アジア				同上
	7月					
2 学 期	9月	南アジア世界	同上			
	10月	東アジア世界				
	11月	イスラーム世界の形成				同上
	12月					
3 学 期	1月	中世西欧世界の成立・発展	同上			
	2月	中世西欧世界の変容				
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者	
2年生 特進コースI・Sクラス(文系)		地歴	日本史B	必修選択	4単位	相澤萌実	
教科書	山川出版社「高校日本史B」		副教材	山川出版社「日本史B用語集」「詳説日本史10分間テスト」「日本史図録 山川ビジュアル版」 啓隆社「新日本史要点ノート(応用編)」			
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。						
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、夏期・冬期・春期講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。						
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。						
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。						
学習計画		単元	学習目標				
1 学 期	4月	第1章 古代社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等) 				
	5月	第2章 律令国家の形成					
	6月	第3章 貴族政治の展開					同上
	7月						
2 学 期	9月	第4章 武家社会の形成	同上				
	10月	第5章 武家社会の成長					
	11月	第6章 幕藩体制の成立					同上
	12月						
3 学 期	1月	第7章 幕藩体制の展開	同上				
	2月	第8章 幕藩体制の動揺					
	3月						

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス	地歴	日本史B	必修選択 4単位	大隈正平・竹下雄貴
教科書	山川出版社「高校日本史B」		副教材	山川出版社「日本史図録 山川ビジュアル版」
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。			
学習上の留意点	都道府県の位置を日本地図上で確認できるようにしておいてください。地歴高等地図を持参するのが望ましいです。			
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	第1章 古代社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等) 	
	5月			
	6月	第2章 律令国家の形成		
	7月			
2 学 期	9月	第3章 貴族政治の展開	同上	
	10月			
	11月	第4章 武家社会の形成		
	12月			
3 学 期	1月	第5章 武家社会の成長	同上	
	2月			
	3月			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースクラス		公民	現代社会	必修	3単位	菊島友里恵
教科書	第一学習社「高等学校 改訂版 新現代社会」		副教材			
授業のねらい	時事的話題を通して、主体的に学び、現代社会の課題に対する思考力を養う。政治や経済に関する基礎的な知識を得たうえで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。					
学習上の留意点	宿題を課すことがあります。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	第1編 私たちの生きる社会	これから学習していくさまざまな課題が世界には存在していることを理解する。			
	5月					
	6月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考える			
	7月					
2 学 期	9月	同上	同上			
	10月					
	11月	同上	同上			
	12月					
3 学 期	1月	第3編 とともに生きる社会をめざして	教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、政治課題としてよく取り上げられる様々な問題について考え、私たちの未来を考察したりする。			
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス(理系)		公民	現代社会	必修	2単位	櫻田泰史
教科書	第一学習社「高等学校 改訂版 新現代社会」		副教材			
授業のねらい	時事的話題を通して、主体的に学び、現代社会の課題に対する思考力を養う。政治や経済に関する基礎的な知識を得たうえで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。					
学習上の留意点	宿題を課すことがあります。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	第1編 私たちの生きる社会	これから学習していくさまざまな課題が世界には存在していることを理解する。			
	5月					
	6月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考える			
	7月					
2 学 期	9月	同上	同上			
	10月					
	11月	同上	同上			
	12月					
3 学 期	1月	第3編 とともに生きる社会をめざして	教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、政治課題としてよく取り上げられる様々な問題について考え、私たちの未来を考察したりする。			
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者	
2年生 進学コースAクラス	公民	ニュースを読み解くⅡ	選択	2単位	平井廣治	
教科書			副教材			
授業のねらい	検定とは自分が持っている力を示すバロメーターです。社会系の検定には歴史検定(日本史・世界史)・地理検定・ニュース検定などがあり、これらの資格は進学時に役に立つと共に、何かに対して一生懸命に取り組む姿勢を身につけていてもらいたと思います。					
学習上の留意点	受検をするからには合格する意思を持って取り組める生徒を求めます。					
評価方法	週2時間の学習のみで検定に合格することは難しいです。自分で勉強する時間を作り、コツコツと取り組むことで結果は必ずついてきます。その努力を惜しまないようにしてください。また、授業の取り組みも重視しますので検定に合格＝良い成績とは限りません。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	N検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・検定に向けての取り組み ・合格実績 			
	5月	N検定				
	6月	N検定対策				同上
	7月					
2 学 期	9月	N検定対策	同上			
	10月	N検定				
	11月	まとめ(ニュースを読み解く)				同上
	12月					
3 学 期	1月	調べ学習・発表	同上			
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI・Sクラス(文系)		地歴	世界史B	必修選択	6単位	兼平翔太郎
教科書	帝国書院「新詳・世界史B」		副教材	第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」「世界史Bマスター問題集」 啓隆社「世界中重要語句Check List」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	・中華帝国とアジア	・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等)			
		・大交易時代、宗教改革				
	5月	・近代のヨーロッパ	同上			
		・市民革命 ・19世紀の西欧諸国				
2 学 期	9月	・帝国主義	同上			
		・アフリカ分割				
	10月	・第一次世界大戦以後の歴史 ※1年次の復習	同上			
		問題演習				
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)	地歴	世界史B	必修選択	6単位	折井千裕・茂木嘉崇
教科書	帝国書院「新詳・世界史B」		副教材	第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」	
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。				
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認できるようにしておいてください。地歴高等地図を持参するのが望ましいです。				
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元	学習目標			
1 学 期	4月	・中華帝国とアジア ・大交易時代、宗教改革	・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等)		
	5月	・近代のヨーロッパ			
	6月	・市民革命 ・19世紀の西欧諸国	同上		
	7月				
2 学 期	9月	・帝国主義 ・アフリカ分割	同上		
	10月	・第一次世界大戦以後の歴史 ※1年次の復習			
	11月	問題演習	同上		
	12月				
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI・Sクラス(文系)		地歴	日本史B	必修選択	6単位	山口忠夫
教科書	山川出版社「高校日本史B」		副教材	山川出版社「日本史B用語集」「詳説日本史10分間テスト」「書きこみ教科書」「日本史図録 山川ビジュアル版」 啓隆社「新 日本史研究ノート 標準編」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等) 			
	5月					
	6月	第10章 2つの世界大戦とアジア	同上			
	7月					
2 学 期	9月	第11章 現代の世界と日本	同上			
	10月					
	11月	問題演習	同上			
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	日本史B	必修選択	6単位	相澤萌実・竹下雄貴
教科書	山川出版社「高校日本史B」		副教材	山川出版社「日本史図録 山川ビジュアル版」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	都道府県の位置を日本地図上で確認できるようにしておいてください。地歴高等地図を持参するのが望ましいです。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等) 			
	5月	第6章 幕藩体制の成立				
	6月	第7章 幕藩体制の展開				
	7月	第8章 幕藩体制の動揺				
2 学 期	9月	第9章 近代国家の成立	同上			
	10月	第10章 2つの世界大戦とアジア				
	11月	第11章 現代の世界と日本				
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者			
3年生 特進コースクラス		地歴	世界史演習	選択	2単位	城崎智弘			
教科書				副教材					
授業のねらい		大学入試共通テストで出題される「世界史B」に対応できるようにするため、演習中心の授業をおこないます。							
学習上の留意点		「世界史B」の基礎知識をベースにして、発展的な演習をおこないます。共通テストをはじめとする入試で世界史を受験科目として考えている人は、この講座をとってください。							
評価方法		宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。							
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。							
学習計画		単元		学習目標					
1 学 期	4月	共通テスト・私大入試問題演習を行います。		<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・歴史事象に対する意見 ・提出物(プリント・課題等) 					
	5月								
	6月	同上					同上		
	7月								
2 学 期	9月	同上		同上					
	10月								
	11月	同上		同上					
	12月								
3 学 期	1月								
	2月								
	3月								

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者		
3年生 特進コースクラス	地歴	日本史演習	選択	2単位	茂木嘉崇		
教科書			副教材				
授業のねらい	大学入試共通テストで出題される「日本史B」に対応できるようにするため、演習中心の授業をおこないます。						
学習上の留意点	「日本史B」の基礎知識をベースにして、発展的な演習をおこないます。共通テストをはじめとする入試で日本史を受験科目として考えている人は、この講座をとってください。						
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。						
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。						
学習計画	単元		学習目標				
1 学 期	4月	共通テスト・私大入試問題演習を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・提出物(プリント・課題等) 				
	5月						
	6月	同上				同上	
	7月						
2 学 期	9月	同上	同上				
	10月						
	11月	同上	同上				
	12月						
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス(文系)	公民	現代社会	必修選択	3単位	栗須大貴
教科書	第一学習社「高等学校 改訂版 新現代社会」		副教材		
授業のねらい	時事的话题を通して、主体的に学び、現代社会の課題に対する思考力を養う。政治や経済に関する基礎的な知識を得たうえで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。				
学習上の留意点	宿題を課すことがあります。				
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画		単元	学習目標		
1 学 期	4月	第1編 私たちの生きる社会	これから学習していくさまざまな課題が世界には存在していることを理解する。		
	5月				
	6月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考える		
	7月				
2 学 期	9月	同上	同上		
	10月				
	11月	第3編 とともに生きる社会をめざして	教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、政治課題としてよく取り上げられる様々な問題について考え、私たちの未来を考察したりする。		
	12月				
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)	公民	現代社会	必修選択 3単位	栗須大貴・赤尾明美
教科書	第一学習社「高等学校 改訂版 新現代社会」		副教材	
授業のねらい	時事的话题を通して、主体的に学び、現代社会の課題に対する思考力を養う。政治や経済に関する基礎的な知識を得たうえで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。			
学習上の留意点	宿題を課すことがあります。			
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	第1編 私たちの生きる社会	これから学習していくさまざまな課題が世界には存在していることを理解する。	
	5月			
	6月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考える	
	7月			
2 学 期	9月	同上	同上	
	10月			
	11月	第3編 ともに生きる社会をめざして	教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、政治課題としてよく取り上げられる様々な問題について考え、私たちの未来を考察したりする。	
	12月			
3 学 期	1月			
	2月			
	3月			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースクラス		公民	政治経済	必修	4単位	寺島嵩登
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能	民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。			
	5月	②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質				
	6月	④基本的人権の保障と新しい人権 ⑤国会の組織と機能				
	7月	⑥内閣の機構と機能				
2 学 期	9月	⑦裁判所の機能と人権保障	司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。			
	10月	⑧地方自治制度と住民の権利				
	11月	⑨政党政治と選挙				
	12月	⑩世論と現代政治の課題				
3 学 期	1月		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。			
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		公民	政治経済	必修	3単位	寺島嵩登
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	民主政治の基本原則と日本国憲法		民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。		
	5月	①政治と法の機能				
	6月	②人権保障と法の支配				
	7月	③議会制民主主義と政治の特質				
2 学 期	9月	④基本的人権の保障と新しい人権		人権に関する判例を活用しながら、権利と義務などについて理解する。人権を主張する際、時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割や日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。		
	10月	⑤国会の組織と機能				
	11月	⑥内閣の機構と機能				
	12月	⑦裁判所の機能と人権保障				
3 学 期	1月	⑧地方自治制度と住民の権利		司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	2月	⑨政党政治と選挙				
	3月	⑩世論と現代政治の課題				
				選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		公民	政治経済	必修	3単位	菊島友里恵・寺島嵩登・櫻田泰史
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能	民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。			
	5月	②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質				
	6月	④基本的人権の保障と新しい人権 ⑤国会の組織と機能				
	7月	⑥内閣の機構と機能				
2 学 期	9月	⑦裁判所の機能と人権保障	司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。			
	10月	⑧地方自治制度と住民の権利				
	11月	⑨政党政治と選挙				
	12月	⑩世論と現代政治の課題				
3 学 期	1月		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。			
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者		
3年生 特進コースSクラス(文系)	地歴	共通テスト対策・世界史	選択	2単位	城崎智弘		
教科書			副教材				
授業のねらい	大学入試共通テストで出題される「世界史B」に対応できるようにするため、演習中心の授業をおこないます。						
学習上の留意点	「世界史B」の基礎知識をベースにして、発展的な演習をおこないます。共通テストをはじめとする入試で世界史を受験科目として考えている人は、この講座をとってください。						
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。						
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。						
学習計画	単元		学習目標				
1 学 期	4月	共通テスト・私大入試問題演習を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・歴史事象に対する意見 ・提出物(プリント・課題等) 				
	5月						
	6月	同上				同上	
	7月						
2 学 期	9月	同上	同上				
	10月						
	11月	同上	同上				
	12月						
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者		
3年生 特進コースSクラス(文系)	地歴公民	共通テスト対策・日本史	選択	2単位	茂木嘉崇		
教科書			副教材				
授業のねらい	大学入試共通テストで出題される「日本史B」に対応できるようにするため、演習中心の授業をおこないます。						
学習上の留意点	「日本史B」の基礎知識をベースにして、発展的な演習をおこないます。共通テストをはじめとする入試で日本史を受験科目として考えている人は、この講座をとってください。						
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。						
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。						
学習計画	単元		学習目標				
1 学 期	4月	共通テスト・私大入試問題演習を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・提出物(プリント・課題等) 				
	5月						
	6月	同上				同上	
	7月						
2 学 期	9月	同上	同上				
	10月						
	11月	同上	同上				
	12月						
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者	
3年生 進学コースAクラス		公民	ニュースを読み解くⅢ	選択	2単位	長原亮	
教科書			副教材				
授業のねらい	検定とは自分が持っている力を示すバロメーターです。社会系の検定には歴史検定(日本史・世界史)・地理検定・ニュース検定などがあり、これらの資格は進学時に役に立つと共に、何かに対して一生懸命に取り組む姿勢を身につけていてもらいたと思います。						
学習上の留意点	受検をするからには合格する意思を持って取り組める生徒を求めます。						
評価方法	週2時間の学習のみで検定に合格することは難しいです。自分で勉強する時間を作り、コツコツと取り組むことで結果は必ずついてきます。その努力を惜しまないようにしてください。また、授業の取り組みも重視しますので検定に合格＝良い成績とは限りません。						
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。						
学習計画		単元	学習目標				
1 学 期	4月	N検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・検定に向けての取り組み ・合格実績 				
	5月	N検定					
	6月	N検定対策					同上
	7月						
2 学 期	9月	N検定対策	同上				
	10月	N検定					
	11月	まとめ(ニュースを読み解く)	同上				
	12月						
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス	地歴	総合型対策・世界史	選択	2単位	兼平翔太郎
教科書			副教材		
授業のねらい	学科試験を課す総合型選抜で出題される「世界史B」に対応できるようにするため、演習中心の授業をおこないます。				
学習上の留意点	「世界史B」の基礎知識をベースにして、発展的な演習をおこないます。共通テストをはじめとする入試で、世界史を総合型選抜や学校推薦型選抜において受験科目として利用しようと考えている人は、この講座をとってください。				
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元		学習目標		
1 学 期	4月	私大入試問題演習を行います。	・学習内容の理解 ・歴史事象に対する意見 ・提出物(プリント・課題等)		
	5月				
	6月			同上	同上
	7月				
2 学 期	9月	同上	同上		
	10月				
	11月	同上	同上		
	12月				
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス	地歴	総合型対策・日本史	選択	2単位	大隈正平
教科書			副教材		
授業のねらい	学科試験を課す総合型選抜で出題される「日本史B」に対応できるようにするため、演習中心の授業をおこないます。				
学習上の留意点	「日本史B」の基礎知識をベースにして、発展的な演習をおこないます。共通テストをはじめとする入試で、日本史を総合型選抜や学校推薦型選抜において受験科目として利用しようと考えている人は、この講座をとってください。				
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元		学習目標		
1 学 期	4月	私大入試問題演習を行います。	・学習内容の理解 ・歴史事象に対する意見 ・提出物(プリント・課題等)		
	5月				
	6月			同上	同上
	7月				
2 学 期	9月	同上	同上		
	10月				
	11月	同上	同上		
	12月				
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		公民	政治経済・現代社会演習	選択	2単位	寺島嵩登
教科書			副教材			
授業のねらい	世の中に目を向けるとともに、総合型選抜への対策を意識し問題演習をおこないます。					
学習上の留意点	授業だけではなく、主体的に問題演習に取り組んでください。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	問題演習を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解 ・提出物(プリント・課題等) 			
	5月					
	6月	同上	同上			
	7月					
2 学 期	9月	同上	同上			
	10月					
	11月	同上	同上			
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					